【優秀賞】

北方領土の返還を願って

恵庭市立恵北中学校
３年　原田　紗希

皆さんは北方領土を知っていますか。北方領土とは択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島の四つの島からできています。特に択捉島は日本の最北端の島であり、日本の中で一番面積が大きい島なので日本にとって、とても大事な存在です。それに北方領土の総面積は福岡県よりも大きく約五千平方キロメートルもあります。また北方領土が日本の領土であることによって大型船が来航できるようになります。それに漁業による利益を得ることができます。日本にとってのメリットがたくさんあります。

では、日本が抱える北方領土問題とはどのようなことなのでしょうか。私も日本国民の一人であるので北方領土問題に関心を持とうと思い調べてみました。北方領土問題とは第二次世界大戦終戦時にソ連軍が我が国の領土である北方領土に侵攻し、現在にいたるまでロシアが法的根拠なく占拠し続けていることだそうです。私はこれを読んでそのままにしてはいけない問題だと思いました。このまま何も対策をしなかったら日本の領土ではなくなってしまうと思ったからです。実際に北方領土では戦後からロシアが不法占拠していて日本人は住むどころか自由に行き来もできないそうです。それに国後島の中心地である古釜布には看板も落書きもロシア語で書かれているそうです。そして私は戦前に北方領土に住んでいた人たちが追い出されて自分の故郷である場所に住めなくなったことがわかりました。そのことを思うと、とても胸が痛くなりました。北方領土がどんどんとロシア化されていくのはもともと北方領土に住んでいた人や私たち国民にとって、とてもつらいことだなと思いました。

北方領土問題を早く解決するためには日本の国民全員が北方領土の返還を実現することを強く願うことが大切だと思います。この問題は北方領土にもともと住んでいた人だけの問題ではありません。またロシア側の意見も聞きながら話し合っていくことが大切だと思います。日本の意見だけを述べてもロシア側は納得してくれないと思うからです。世界中の人々が納得して一日でも早い北方領土の返還を私は願っています。